

平成29年度 第10回日本科学教育学会研究会(東海支部開催)プログラム

[テーマ] 科学教育の未来を考える

[日時] 平成30年6月23日(土) 10:00~15:20

[会場] 三重大学教育学部1号棟304・401・402教室

[日程]

9:30~10:00 受付

10:00~10:10 開会

10:10~11:30 研究発表(午前の部)

11:30~13:00 昼食(東海支部総会)

13:00~14:00 研究発表(午後の部前半)

14:00~14:20 休憩

14:20~15:20 研究発表(午後の部後半)

15:20 終了

- A01 10:10-10:30 擬人化による電気回路の理解
○吉川直志、沖袖希、尾崎真帆(名古屋女子大学)
- A02 10:30-10:50 「スクラッチ」を用いた断熱変化実験の開発と効果
○中廣 健治(東紀州くろしお学園おわせ分校)、下村勉・須曾野仁志(三重大学)
- A03 10:50-11:10 デジタル理科教科書における「技術」のイメージに関する基礎研究
○林裕貴(静岡大学大学院教育学研究科)、郡司賀透(静岡大学学術院教育学領域)
- A04 11:10-11:30 資質・能力育成を指向し文脈を基盤としたMINTの学習プロセスー ドイツ・キール大学IPN「NaWi造船所」を例として
○寺田 光宏(岐阜聖徳学園大学)、磯部征尊(愛知教育大学)
- 11:30-13:00 昼休憩・東海支部総会
- A05 13:00-13:20 三重中学校の外部連携が10年を超え、そこから見えてきたもの
○小西 伴尚・石井 智也・秦 浩之(三重中学校・高等学校)・平賀伸夫(三重大学教育学部)
- A06 13:20-13:40 中学校の理科授業で送電を扱う授業案
○川田 博基・小西 伴尚・秦 浩之(三重中学校・高等学校)・杉崎 隆・南 創・藤原 信也・倉田 茂・鈴木 伸明・尾上 勝利・茂森 則幸・東本 達也(中部電力)・平賀 伸夫(三重大学教育学部)
- A07 13:40-14:00 VRによる磁界の可視化を用いた授業の実践結果
○植田 達郎(三重大学非常勤講師)、川田 博基(三重中学校・高等学校)
- 14:00-14:20 休憩
- A08 14:20-14:40 御嶽火山ハザードマップとの比較が可能な火砕流モデル実験教材の開発と中学校での授業実践
○田中 健二郎・川上 紳一(岐阜聖徳学園大学教育学部)、武藤 正典(岐阜市立長良中学校)
- A09 14:40-15:00 示準化石の探究学習へ向けたモロッコ産デボン紀クリメニア化石の教材化と中学校における授業実践
○川上 紳一・河合 佑里恵(岐阜聖徳学園大学教育学部)、橋田 千寿(岡山県立倉敷天城中学校)
- A10 15:00-15:20 科学体験活動のまとめとしての体験者自身による電子ブック作成についての実践と考察ー 研究所の科学コミュニ
○倉田 智子(自然科学研究機構 基礎生物学研究所)
- B05 13:00-13:20 科学系博物館が作成する学校種・学年別ワークシートの問いの傾向
○崎山 琢人(三重大学大学院教育学研究科)、平賀 伸夫(三重大学教育学部)
- B06 13:20-13:40 理科教材の開発を通じた教職実践演習の効果的な指導法
○小林 俊行(東海大学課程資格教育センター)
- B07 13:40-14:00 算数・数学の解法理解と精緻化に関する考察
○小池 嘉志(中部大学)